

市民活動推進委員会の ワークショップの進め方

令和3年度第2回 市民活動推進委員会

1

全体協議 と ワークショップ

第8期 市民活動推進委員会

2

ワークショップの概要

市民活動推進委員会では、答申のための討議を行う手法として、主に次の2種の討議方法を審議の内容により使い分けています。

(1) 全体討議

(2) ワークショップ(グループ)討議

3

全体討議

委員長の進行に基づいて、出席した委員全員が主に次の2種の場面で討議を行います。

- ① 答申のための討議のうち、委員の合意や理解の共有を図る場面で実施
- ② マッチングファンドの審査時に実施



ワークショップ(グループ)討議

委員長が定めたテーマに基づいて、数名のグループに分かれた委員が次の2種の場面で討議を行います。

答申のための討議のうち、多数の意見を…、

- ①発想する場面で実施
- ②集約する場面で実施



本日のワークショップ

第8期 市民活動推進委員会

6

1 本日のワークショップ(ねらい)

本市の市民活動における「現状」と「あるべき姿」を
対話によって検討(ワークショップで討議)します。

今後の答申原案作成に向けた意見の発想を行い、
皆さんのお考えを共有します。

7

2 本日のワークショップ形式

ワールドカフェ(※)

- * カフェのようにリラックスした雰囲気で対話します。
- * 世界を巡るように、相手を変えて対話します。
- * 互いの意見をよく聞き(否定しない)、つながりを
意識して対話します。

※ワールドカフェとは？

グループのメンバー(参加者)を繰り返し(2・3回)シャッフルしながら、対話すること
です。自らの考えを整理するために、メンバーが問いと呼ばれるテーマに基づく対
話から影響を得て、自らの考えをさらに深められる効果があります。

8

3 本日の流れ

- | | |
|---------------|----------|
| (1)流れの説明 | 15分 |
| (2)対話 | 80分 |
| 対話①(20分) | 対話②(20分) |
| 休憩(5分) | |
| 対話③(20分) | 対話④(15分) |
| (3)振り返り(質疑含む) | 20分 |

9

4 対話のテーマ(問い)

- ①あなたが知っている地域の市民活動で、
上手いっていること、
または、
上手いっていないことは何ですか？
- ②また、それらの理想はどんな姿ですか？

10

5 ワールドカフェの心得

対話中に気をつけたいことを別紙にまとめました。
対話の間には、配慮をお願いします。

- * 人の話に耳を傾けることが大切です
- * 自分ばかり話しません
- * 頭から否定しません
- * 楽しい雰囲気大切にします
～全員が気持ちよく話せるように～

11

6 テーブルクロス(模造紙)の使い方

- * 対話を見える化する道具です。
- * 対話の内容を全員が書き込みます。
- * 今回書いた言葉は、次回討議の資料にまとめます。
- * 書いてほしいこと

対話中に、気づいたこと、気になった言葉、
自分が感じたこと、考えが変わったこと など

- * 書き方

なるべく「キーワード」を書いてください。

(必要であれば、補足説明を追記してください)

12

7 グループ、席次、進行など(1)

- * 委員を無作為にグループ分けしています。
- * 席次表にグループが記載してあります。
- * 対話①の開始時には指定のグループに着席します。
- * 対話②からは、混交して着席してください。

13

7 グループ、席次、進行など(2)

- * 各テーブルにオーナー(進行役)として、委員長と事務局が入ります。
- * 対話冒頭にオーナーが対話を振り返ります。
- * オーナーから指名されたウェイター(書記)は、他の参加者の発言も含めて書き込みをお願いします。

14